

## ■メンテナンス

- 保護板**(ガラス板、アクリル板)を外して展示する場合、温湿度変化による収縮が大きくなり描画面損傷のリスクが高まります。なお、張り替え専用の保護ニス塗布する必要がありますので、必ずお問い合わせ下さい。ニスは3段階あり、作者在命中は加筆可能なニスで仕上げる場合が多いです。
- 描画面**には触れないで下さい。キャンバスを外す際は、まず手を綺麗に洗い、両側から挟むようにして持ちます。外したキャンバスは直射日光、湿気、虫などを避けるため、箱に入れるか安全な場所に保管。
- ガラス板**は濡れた布やティッシュで拭くことができます。水やアルコールが絵に付かないよう注意。
- アクリル板**は柔らかい布で軽く拭いて下さい。ホコリは柔らかいハタキかブロワーで除去。板面の小傷はアクリルサンデー(研磨剤)である程度修復できます。
- 保護板の強化**(高硬度、低反射、UVカット)可能です。※別途料金が発生します。
- 絵の修復やクリーニング(無料)**ご希望の際はお気軽にご相談下さい。必要に応じて描画面の汚れ除去、保護ニスや艶調整ニスの塗布、キャンバスタックス(釘)の錆び止め加工、額縁のメンテナンスなどを行います。お預かり期間は絵の状態や気候によって異なります。

## ■お問い合わせ

〒843-0002 佐賀県武雄市朝日町中野7992 新里たけるアトリエ

Tel/Fax:090-5488-6446 Email:info.takeruniizato@gmail.com

ホームページ:www.takeruniizato.com



Sign \_\_\_\_\_

# 油彩画お取扱説明書

〈保存版〉

新里たける

## ■油彩画について

油彩画には六百年以上もの歴史があり、その表現力はもちろん完成後の作品には深い味わいがあります。頑丈で反りの無い木枠に丈夫な麻布を張ってキャンバスを作り、下地に固着力の強いホワイトを数回に分けて塗布。描画面には耐候性に優れた顔料と画溶液を厳選して使用しています。

なお、額縁は熟練職人の手仕上げによるものです。(自作品もあり)

後世に残る作品作りを心がけています。未永くご鑑賞頂ければこの上なき喜びです。

## ■展示方法

ご希望の設置場所に収まらない、直射日光が当たる、損傷リスクがあるなど、設置が困難な事例がございます。事前に寸法や展示条件をお確かめ下さい。

- ・**場所の確保**>目線の高さに設置できる場所、絵の上下に十分なスペースを確保。大型の絵(50号以上)でも床上最低50cm以上開ける。
- ・**額縁の紐**>ひばり結び(二重)でしっかり縛ってあるか確認。
- ・**保護板**(ガラス板、アクリル板)>損傷防止のため付けたまま展示。
- ・**フックに掛ける**>壁や柱の強度、内部配線を確認し、絵の重量に見合った耐荷重の額縁用フックをピンで打ち付ける。壁の古穴を再利用しない。
- ・**ワイヤーで吊る**>ピクチャーレールまたはフックに額縁用ワイヤー1、2本で吊るしバランスを取る。重量のある絵は下部を誰かに支えてもらいながら作業。
- ・**大型の絵**>太めのフック、ワイヤーを使用。額縁の下に補強用の木脚か専用額受けを取り付ける。保護板の無い絵はロープパーテーションを設置検討。
- ・**スポットライト**>作品に対しライトを45°以内に設置することで見やすく雰囲気も良くなる。LEDランプは熱紫外線量が比較的少なく美術品の展示に適しているが、加熱、褪色防止のため距離を離し、不使用時は消灯。
- ・**盗難、地震対策**>安全な場所に展示。セーフティフックを使用。裏側にワイヤーロック取り付け。額紐とフックを針金で連結し代用することも可能。
- ・**題名プレート**>両面テープか細いピンで留める。

## ■展示に適さない場所

- ・**直射日光が当たる、ライトが近過ぎる**>紫外線と熱により褪色、変形、亀裂、火災発生の可能性。
- ・**絵の正面に光源がある**／窓向かい、照明器具前>額縁ガラス板に光が反射し絵が観づらいため、絵か光源の位置を変更。窓にカーテン取り付け。
- ・**湿気が多い、床に近い**／倉庫、地下室、浴室付近、床など>湿気、ホコリなどによりカビやシミ発生の可能性。
- ・**外気、冷暖房が当たる**／ベランダ、玄関ドア、窓付近、エアコン前など>湿気、寒暖差、結露、ホコリなどによりカビやシミ発生の可能性。温湿度変化でキャンバス収縮による描画面損傷リスク。
- ・**粉塵、油、煙、ガス、スプレー液が飛散している**／工場、厨房、喫煙所など>汚染、劣化の可能性。
- ・**虫や動物の進入がある**>汚染、損傷の可能性。
- ・**人や物が接触し易い**／狭い通路、体育館など>損傷、怪我の可能性。

## ■運搬方法

- ・絵(額縁)の両側面から挟むようにして持つ。または下部を支えながら紐を持つ。
- ・床に仮置きする場合は養生マットを敷く。
- ・箱に入れるか護衛材(毛布、エアキャップ)に包んで運搬。
- ・雨天時、強風時、炎天下、氷点下での運搬は避ける。もしくは厳重に梱包。
- ・絵の落下、横転による描画面の損傷、怪我に注意。
- ・焦らず一枚一枚運ぶ。絵の角打ち、足元引っ掛けに注意。
- ・車載時は絵が動かないよう厳重に固定。平置きの場合はマットを敷く。
- ・積み下ろし時の盗難に注意。
- ・大型の絵を運搬する際は2人以上で作業を行う。超大型(150号以上)の場合は3人以上、箱(輓)トラック1t以上が必要。
- ・脚立は踏板が広く耐加重の高い安全なものを使う。